

平成17年10月28日
奈良市経済部観光課

第24回奈良大和路キャンペーン「歴史の素顔に出逢いたい」の実施について

冬の奈良の観光PRのため、昭和57年から実施しています「奈良大和路キャンペーン」は、本年度24回目を数えます。今回のキャンペーンは、本年12月15日から翌年3月21日までの日程で展開します。

当キャンペーンPR用のイベントガイド・ポスターが完成しましたので、キャンペーンの実施とともにお知らせします。

なお、ポスターについては、10月30日からのJR西日本大阪環状線車内吊りによる掲出を皮切りに順次下記場所において掲出されます。

キャンペーンの実施について

- ・日 程 平成17年12月15日～平成18年3月21日

イベントガイドについて

- ・サイズ等 冬のイベントガイドA4(24ページ全カラー)
- ・制作部数 15万部
- ・配 付 先 旅行代理店、JR東海観光案内所、JR西日本主要駅及び旅行センター、レジャー記者会・テレビ記者会等会員、近鉄主要駅、奈良交通主要案内所、奈良市内旅館・ホテル、奈良市内社寺・観光施設、大阪市内港湾施設、関西国際空港内案内所

ポスターについて

- ・サイズ等 B1、B2、B3(カラー5色刷り)
デザイン2種類 《歴史の素顔に出逢いたい そろそろ奈良へ 行事編》
《歴史の素顔に出逢いたい そろそろ奈良へ 風景編》
- ・制作部数 35,000枚
(B1 3,000枚、B2 1,000枚、B3 31,000枚)
- ・掲出場所 全国JR主要駅・大阪環状線車内吊り、近鉄主要駅・車内吊り、奈良交通主要案内所・関東地区バス車内吊り、市内観光案内所、奈良市内旅館・ホテル、奈良市内社寺・観光施設、東京駅構内、大阪市内港湾施設、関西国際空港内案内所

【今回の特徴】

ポスターについて、前半(行事編)は、古都奈良の冬の代表的な伝統行事をモチーフに、後半(風景編)は、奈良のシンボルの一つである鹿と奈良の冬景色をモチーフに、それぞれ冬の「奈良」がもたらしてくれる「感動」・「癒し」をキャッチコピーとともに表現しています。現代人が渴望している「感動」・「癒し」という「こころ」の要素を表現することで、「こころのふるさと奈良」への誘客宣伝効果を狙ったデザインとしました。

イベントガイドについては、女性・若年層を意識したパステルカラーを用いて、親しみやすい誌面の仕上がりとなりました。また、旧月ヶ瀬村・旧都祁村との合併に伴い、月ヶ瀬梅林等の旧両村の冬の観光PRも行っています。

(前半ポスター・行事編：中央写真の解説)

写真：春日大社舞楽始式 「蘇莫者(そまくしゃ)」

曲について：役行者ゆかりの伝説など諸説ありますが、聖徳太子が信貴山で笛を吹いていると、山の神が現われ舞を踊ったといういわれを元に、四天王寺の楽人が作ったとも言われています。

舞楽面について：山の神を表したものといわれ、赤い舌を出した猿のような顔が特徴です。顔全体を金の漆塗りで仕上げ、舞楽面の中では一番長いといわれる白髪が植えてあります。

装束について：紅地唐織の裯褙(りょうとう)装束の上に蓑(みの)を着け、頭には面牟子(めんむし)とよばれる帽子をかぶり、手には桴(ばち)を持ちます。

楽所について：舞楽は7～8世紀に大陸から伝わった芸能が日本風に変化したもので、日本で最も古い伝統芸能の一つです。また、雅楽や舞楽を演奏する集団、組織を楽所(がくそ)と呼びます。春日大社ゆかりの南都楽所(なんとがくそ)は、平安時代後期に形成された後、京都(大内楽所)・大阪(天王寺楽所)と並ぶ「三方楽所(さんぼうがくそ)」の一つとして、その伝承・保存に努め、現在に至ります。毎年、成人の日には、春日古楽保存会・南都楽所の奉仕により春日大社の林檎の庭で舞楽が奉納されます。

(注)これはあくまでもイメージ写真ですので、本キャンペーン期間中に、当舞楽が奉納されるかどうかはわかりません。

問い合わせ先

奈良市経済部観光課

電話0742-34-1111

内線2911・2912